

令和5年度 事業報告

第二青陽園

計 画	実施状況
1 事業 (1) 特別養護老人ホームの経営 第二青陽園 定員90人 (2) 老人短期入所事業の経営 第二青陽園 定員10人	計画どおり
2 経営方針	計画どおり
3 行動指針	計画どおり
4 収支目標	
年間入所利用率を97.5%とする。	長期入所利用率 92.5 % 短期入所利用率 96.9 % 長期短期の合計 92.9 % 要介護度 入所 3.86 短期 3.13 平均年齢 入所 88歳 短期 80.1歳

5 実施内容	
(1) 施設の安心・安全な運営	
①新型コロナウイルス感染症等防止対策の徹底 ・「感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための指針」に基づき、感染防止委員会を定期開催して感染症等防止対策を図っていく。また、連絡会等を通じて感染症関係について注意喚起をしていく。 ・新型コロナウイルス感染症防止のためのPCR検査や抗原検査を実施する。 ・感染症予防に関する研修を定期的を実施する。 ・感染症関係の情報収集に努め、対策マニュアルや新型コロナウイルス発生時の業務継続計画書(BCP)の見直しを行う。	① 新型コロナウイルス感染症等防止対策の徹底として、感染防止委員会及び日常の業務を通じて、手洗い、消毒、マスク、日常ケアでの感染対策を行うなど、感染症防止対策を実施した。 ・入居前のご入居者にPCR検査を1回実施するなどの感染症防止対策を講じるとともに、職員のPCR検査、抗原検査を毎週1回及び必要時に実施した。 ・感染症防止対策に関する施設内研修を教育研修計画に組入れ実施した。また感染時に着用する個人用防護具(PPE)の着脱訓練を介護職員全員に実施した。 ・外部研修として、東京都感染対策即応支援チームの訪問による、感染対策リーダー研修を受講した。また、最新の感染症防止対策の情報収集を行い、感染マニュアルを更新した。
②社会的な信頼の確保と向上 ・日常ケアを通じて、ご利用者ご家族の意見や要望に対して誠意をもって対応するとともに、第三者委員参加のもと、苦情防止解決委員会を開催して対応を図る。 ・個人情報保護を適切に行うために、関係情報の周知、業務点検、研修等を実施する。 ・第三者評価を受審してサービス評価を行い、サービス向上に取り組む。 ・ご利用者の活動の様子をホームページに掲載してご家族に伝える。	② 日常ケアを通じて、ご入居者ご家族の意見や要望に対して誠意をもって対応した。なお、ホームページにユニット活動の様子を掲載して、ご家族の安心につながるように努めた。 ・第三者委員と連携をとり、苦情防止解決委員会を実施した。 ・個人情報保護やプライバシー保護、サービス規定に関する研修を実施した。 ・福祉サービス第三者評価を受審して良好な結果を得ることができ、施設ケアサービス向上につながった。

<p>③ 医療体制の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内科、精神科、泌尿器科、皮膚科医師の定期診察により健康管理を行う。 ・看取り期や急変時の対応として、夜間を含めた医師と看護師のオンコール体制、介護員との連携などにより医療対応を提供していく。 	<p>③ 管理医、嘱託医による内科、精神科、泌尿器科、皮膚科の定期診察により、ご入居者の健康管理を行った。また、ご入居者と職員へのインフルエンザワクチン、新型コロナワクチン接種7回目を管理医にて施行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看取り期や急変時は、夜間を含めた医師と看護師のオンコール体制のもと、随時、ご家族に状態経過を連絡しながら対応を行った。
<p>④ 防災体制・防犯体制の整備、見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防火管理委員会のもと定期的に防災訓練と防犯訓練を実施し、防災・防犯の意識向上を図り、避難・通報・防犯の周知徹底を図る。 ・消防設備の定期点検を実施するとともに、防火管理者による防火設備及び避難経路の確認・管理を行う。 ・自然災害発生時の業務継続計画書（BCP）の見直しを行う。 	<p>④ 業務継続計画（BCP）に沿った訓練を実施し、自然災害発生時・感染症発生時の業務継続計画関係の研修の実施と見直しを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を実施して、防災意識の向上を図り、防災設備と避難経路の確認、通報と避難手順の周知徹底を図った。 ・定期的に業者による消防設備点検を実施し、防火管理者による防火設備や避難経路の点検などを行った。 ・防犯対策として設備の点検と戸締りの点検、夜間の施設内外の巡回による点検を実施した。
<p>⑤ 事故の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「事故発生防止のための指針」に基づき、事故防止委員会を定期開催し、ヒヤリハット及び事故報告書を分析して事故防止体制を強化する。 ・事故防止関係の研修を実施し、事故防止対策の充実を図る。 	<p>⑤ 事故防止委員会及び日常のケアを通じて、ヒヤリハット報告・事故報告を分析して事故防止対策を図った。また、入居相談時に、ご家族に対して転倒や転落などのリスクについて説明し、事前に理解を得るように取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故防止関係の研修を年間の教育研修計画に組入れ、また新入職員向けの事故防止関係の研修も実施した。
<p>⑥ 虐待の防止及び早期発見・拘束ゼロの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尊厳保持、虐待防止、身体拘束防止についての委員会を定期開催して虐待防止、拘束防止を徹底継続するための確認及び職員周知を行う。 ・日常ケアを点検して適切ケアに取り組み、関係する研修を実施する。 ・「身体的拘束等適正化のための指針」に沿った行動に努める。 	<p>⑥ 尊厳保持・虐待防止・身体拘束防止の委員会及び日常のケアを通じて、身体拘束ゼロ、虐待ゼロを徹底するとともに、関係するオンライン外部研修及び園内教育研修を実施した。また随時、新入職員向けの身体拘束防止、虐待防止研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止の自己点検として、虐待防止委員会による、虐待の芽アンケートを介護職員・看護職員対象に実施した。
<p>⑦ 建物、設備の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会や日常業務を通じて、設備等の不具合について適宜確認し周知するとともに、定期的に建物・設備の点検を実施する。 	<p>⑦ 安全衛生委員会や日常業務を通じて、備品の整理整頓、建物・設備の点検を行い、不具合等については適宜必要な修繕を実施した。</p>
<p>(2) 社会・利用者ニーズへの的確な対応</p>	
<p>① サービス計画にご利用者ご家族の意向を反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者ご家族等にケアプラン会議に出席して頂くか、又は電話や書面にて家族と連絡をとり、ご利用者ご家族等の意向を反映したサービス計画書を作成する。 	<p>① 入居時と半年毎のサービス計画書作成時に、ご入居者ご家族の意向を確認してサービス計画書を作成した。感染症防止対策を図り、ご家族出席してのケアプラン会議を再開した。</p>

<p>② 利用者・家族等の意見、要望の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご家族との連絡、日常ケアでのご利用者との会話や状態把握等を通じて、ご利用者ご家族等の要望の把握に努める。 ・第三者評価の利用者アンケート調査をもとに意見や要望の把握に努める。 	<p>② 日常ケアを通じてご入居者の要望の把握に努めるとともに、ご家族との電話連絡時やご家族来園時などに、ご家族の要望の把握に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご家族から要望の多い面会については、感染症防止対策を継続して、入居者居室での面会を実施した。 ・第三者評価を受審して、サービス提供について入居者聞き取り調査を行い、意見要望の把握に取り組んだ。
<p>③ サービス計画に基づくサービスの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の24シートにもとづき食事、入浴、排せつ等のケアを実施する。 ・個別の機能訓練計画を作成し、日常生活動作の維持改善を図る。 ・選択食や季節感のある行事食等により食事サービスを提供する。 ・ユニットケアの特徴を活かしたサービスに努める。 	<p>③ 個別の24シートにもとづき食事、入浴、排せつ等のケアを実施し、日常ケアやユニット会議などを通じてケア方法を点検して、より良いケアを提供できるよう努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能訓練指導員とユニット職員等が連携して日常生活動作の維持改善に取り組んだ。 ・給食会議を行い、献立の意見交換などから、選択食やご入居者の意見に沿った食事サービスを提供した。 ・ユニットケアの特徴を活かしたサービスにつながるように、ユニット推進委員会を開催し、ユニットケア教育研修などを実施した。
<p>④ 余暇活動や行事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症防止対策を講じて余暇活動や行事を実施する。 ・ご利用者の要望に沿いながら、誕生会やユニット活動等を実施する。 ・パブリックスペースを活用して、家族や地域の方との交流を図る。 	<p>④ 第二青陽園開設10周年目を迎え、パブリックスペースを活用してイベントを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症防止対策を講じて、4年ぶりの法人夏祭りを開催し、ご入居者とご家族と一緒に参加して頂いた。 ・ご入居者の誕生会やユニット別の余暇活動を行い、ご入居者に喜んで頂けるように努めた。 ・地域交流として、町会こども神輿のイベントに、ご入居者と職員が参加した。 ・敬老の集いでは、理事長より95歳以上のご入居者一人ひとりにお花の授与と記念撮影を行い、記念写真をご家族へお送りした。
<p>(3) 事業の安定的な運営</p>	
<p>① 経営感覚の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹部会にて収支目標に対する進捗状況や経営状況を確認し職員周知を行う。 ・節電や節水等により経費の節約に努める。 	<p>① 幹部会や連絡会において収支目標に係る進捗状況や経営状況について確認を行い、職員周知を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道及びガスの使用量節減のため節水装置を取付けており、経費の節約に努めた。
<p>② 業務の簡素化・効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入居者管理システムや施設内LANを活用して、業務の効率化と簡素化に取り組む。 ・マニュアルの見直し、委員会や会議の見直しなどにより、業務の効率化に取り組む。 	<p>② 入所者管理システムや施設内ネットワークを活用して、各部署間の情報共有と業務の効率化に取り組んだ。また、ユニットと各部署のパソコンで研修動画を視聴できるようにして、場所移動時間の節約と業務時間の効率につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務委員会や他の委員会を通して、マニュアルの見直しを行った。
<p>③ 入居を計画的に安全に進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業所、老人保健施設や病院などにアプローチを行いながら、PCR検査を実施して、入居を計画的に安全に進める。 	<p>③ 居宅介護支援事業所、老人保健施設や病院などと連携をとり、事前のPCR検査を行いながら、入居を計画的に安全に進めた。</p>

(4) 職員の知識・技術の向上と職場の活性化	
<p>① 知識・技術の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OJTや研修を通じて、知識・技術の向上につなげる。 ・感染症対策の一環として、オンラインによる外部研修受講を進める。 ・必要な各種資格を取得する際の支援体制を図る。 	<p>① OJTによる知識・技術の向上に取り組むとともに、園内の教育研修を年22回の取り組み又、新入職時における研修を整備し随時実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員全員が研修に参加できるよう、ネット配信研修を導入した。 ・外部研修など、ZOOMによるオンライン研修が受講できるようサポートをした。
<p>② 各種資格の取得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の教育訓練給付制度(介護支援専門員、介護福祉士及び社会福祉士等)等を活用し、職員の業務上必要な各種資格の取得に向けた取り組み(職員への周知、勤務への配慮及び資格取得お祝金の支給等)を実施する。 	<p>② 介護福祉士資格取得者2名へ資格取得お祝金の支給をした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国個室ユニット型施設推進協議会のユニットリーダー研修を2名が修了した。 ・国の教育訓練給付金制度等を活用し、職員の業務上必要な各種資格の取得に向けた取り組みを推進した。
<p>③ 職員の確保と定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の確保と定着を図るために、自己申告書等を活用したキャリアパスを実施して、職員一人ひとりが「やる気と誇り」を持って働くことができる職場づくりに努める。 ・健康、安全や衛生に関する情報を提供していく。 	<p>③ 介護支援専門員等の資格取得希望者の受験勉強のフォローアップや介護職員としての知識・技術が向上できるよう、ネット配信研修を導入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会において、職場環境の改善や情報提供に努め、メンタルケア研修を推進した。
(5) 地域、後援会との連携	
<p>① 地域等連携事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本部と連携して、町会長との懇談会(6月9日(金曜日))、地域町会との合同防災訓練(10月20日(金曜日))に取り組む。 ・本部、後援会、各園やボランティアと連携して、夏祭り(7月28日(金曜日))、敬老の集い(9月16日(土曜日))、チャリティバザー(10月7日(土曜日))などの行事に取り組む。 ・青陽園及び地域包括支援センター川口と連携しての「認知症カフェさくら」、「介護予防健康体操教室」の開催は、新型コロナウイルス感染症などの状況を踏まえて検討する。 	<p>① 法人主催による町会長との懇談会に園長が出席した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を講じて4年ぶりに法人夏祭りを開催し、地域の方々との盆踊り、後援会協賛による打ち上げ花火を、ご入居者、ご家族、職員が楽しむことができ、地域と連携を図ることができた。 ・敬老の集いでは、95歳以上のご入居者へ、後援会よりお祝いのお花と記念品を頂いた。 ・青陽園及び地域包括支援センター川口と連携を図り、「認知症カフェさくら」、「介護予防健康体操教室」の次年度開催に向け検討会を行った。
<p>② 高齢者関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都、八王子市、社会福祉協議会などの関係機関との連携を図る。 ・八王子施設長会に参加し、他施設との情報交換などを行う。 	<p>② 東京都による経営支援補助とPCR検査補助、八王子市による短期入所者PCR検査補助を受けた。また、八王子市のホームページ「八王子ケア倶楽部」から事業関係情報や地域福祉の情報を収集し把握に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八王子施設長会では、特養施設ブロック会、施設長総会に出席し、情報交換などを行った。